

作成日 2025 年 2 月 26 日
(最終更新日 2025 年 3 月 28 日)

「情報公開文書」 (Web ページ掲載用)

受付番号 : 5149

課題名 : 防衛医科大学校病院における A 群溶血性レンサ球菌菌血症患者より分離された菌の解析についての研究

1. 研究の対象

2020 年 4 月～2024 年 12 月までに防衛医科大学校病院に入院された 18 歳以上の方で、診療の中で血液培養検査から A 群溶血性レンサ球菌が検出された方を対象とします。

2. 研究期間

2025 年 3 月 (研究実施許可日) ～2026 年 12 月

3. 試料・情報の利用及び提供を開始する予定日

当院で試料・情報の利用を開始する予定日及び外部への提供を開始する予定日は以下の通りです。

利用開始予定日 : 2025 年 3 月

4. 研究目的

劇症型 A 群溶血性レンサ球菌菌血症 (GAS) は、急速に進行する重篤な感染症であり、特に免疫力が低下している患者や特定の基礎疾患を持つ患者において高いリスクを伴います。

GAS 感染は多様な臨床症状を呈し、発熱、関節炎、蜂窩織炎、発疹、骨髓炎、髄膜炎などが報告されており、特に、皮膚や軟部組織の感染が一般的とされます。劇症型の感染では、急性呼吸窮迫症候群や多臓器不全が発生し、死亡率が高くなるため、迅速な診断と適切な抗菌薬治療が重要となります。また、特定の GAS 株 (例 : T1/M1 型株) は、致死率の増加と関連しているとされており、感染部位より分離された菌の迅速な同定と型別は患者予後の推定や治療方針の決定の一助となりえます。

今回 GAS の解析・評価を行うことで今後の当院における診療機能向上を図り、さらに学術的活動を通して国内の感染症診療発展に寄与することを目的としています。

5. 研究方法

当院において、上記期間において血液培養から A 群溶血性レンサ球菌が検出された患者を対象とし、電子カルテから診療情報を収集します。また該当の患者より分離された A 群溶血性レンサ球菌株を使用して菌の型別など詳細な解析を行います。この研究のために新たに採取する情報や検体はありません。収集した情報は統計学的に処理し、現状の評価を行います。

6. 研究に用いる試料・情報の種類

情報 : 年齢、性別、基礎疾患、入院時期、発症日、行われた医療ケアの種類、
薬剤耐性状況、使用された抗菌薬等

試料 : 血液培養より分離された A 群溶血性レンサ球菌株

7. 外部への試料・情報の提供

該当なし

8. 研究組織

本校単独研究

9. 研究費・利益相反（企業等との利害関係）について

当院では、研究責任者のグループが公正性を保つことを目的に、情報公開文書において企業等との利害関係の開示を行っています。

使用する研究費は防衛医学振興会費です。

本研究は、研究責任者のグループにより公正に行われます。本研究の利害関係については、現在のところありません。今後生じた場合には、所属機関において利益相反の管理を受けたうえで研究を継続し、本研究の企業等との利害関係について公正性を保ちます。

この研究の結果により特許権等が生じた場合は、その帰属先は研究機関及び研究者等になります。あなたには帰属しません。

10. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としません。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。ご了承いただけない場合、得られた試料・情報は全て破棄します。ただし、ご了承いただけない旨の意思表示があった時点で既に研究成果が公表されていた場合など、データから除けない場合もあります。研究への利用を拒否することを決められた場合、下記の連絡先までお申出ください。

当院における照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

担当者の所属・氏名：防衛医科大学校病院 検査部 濱本 隆明

住所：〒359-8513 埼玉県所沢市並木 3-2

連絡先：04-2995-1511（内線 3220）電話対応時間 9 時から 16 時

hamamoto@ndmc.ac.jp